

県立西宮南高等学校 機械警備業務委託 仕様書

1 目的

学校現場における異常を早期に発見・通報し、被害の発生及び拡大を防止するとともに、安全・安心な教育環境を維持するため。

2 適用範囲

この仕様書は、兵庫県立西宮南高等学校（以下「発注者」という。）において、警備業者（以下「受注者」という）が受託する県立西宮南高等学校の機械警備業務委託に適用する。

3 委託業務の名称

県立西宮南高等学校 機械警備業務委託

4 委託業務の場所

西宮市高須町2丁目1番43号 兵庫県立西宮南高等学校

5 契約期間

令和8年4月1日 から 令和13年3月31日 まで （5年間）
（地方自治法第234条の3に基づく長期継続契約）

6 委託する業務の内容

（1）警備対象施設の概要

兵庫県立西宮南高等学校 校舎敷地面積 11,860㎡

管理室棟（A棟）：鉄筋コンクリート造3階建 面積2,277.56㎡

普通教室棟（B棟）：鉄筋コンクリート造4階建 面積4,033.20㎡

特別教室棟（C棟）：鉄筋コンクリート造4階建 面積4,979.52㎡

体育館：鉄筋コンクリート造2階建 面積2,417.20㎡

（2）警備方式

県立西宮南高等学校（以下「学校」という）の警備業務を機械警備により行うものとする。

業務内容は次に掲げるものとする。

機械警備業務とは、警備業法第2条第4項第5号に定義されるもので、警備対象施設に設置した警備業務用機械装置（以下「警備装置」という。）が感知した信号を、受注者の基地局に設置する機器へ送信し、その受信装置の表示により、警備員が当該

施設へ急行し、警備業務に当たることをいう。

(3) 機械警備業務

(ア) 警備装置

警備装置の機能及び警戒区域は、次に掲げるものとする。

- ① 施設の扉または窓の開閉を感知する機能（警戒区域：別紙「県立西宮南高等学校機械警備対象箇所一覧」に記載する範囲）
- ② 空間内における発熱体や赤外線遮断等を感知する機能（警戒区域：①と同様）
- ③ 火災発生を感知する機能（警戒区域：校舎内及び体育館全体）
- ④ 非常通報装置により非常信号（自動火災報知器発報、漏電発報、受水槽の減・満水異常発報、停電異常）を感知する機能（警戒区域：③と同様）
- ⑤ 機械装置及びセンサーの破壊、配線の切断等の異常を監視する機能
- ⑥ 警備の開始、解除の操作を行う機能
- ⑦ 基地局に異常等の信号を送信する機能

(イ) 警備責任時間

原則として警備装置を開始（セット時）した時点より警備装置のセットが解除された時点までとする。ただし、前号「(ア) ③火災発生を感知する機能」及び「④非常通報装置により非常信号を感知する機能」については、常時対応すること。

(ウ) 業務内容

- ① 基地局において学校内への侵入、破壊行為等不法行為の発生やその他異常を感知した場合は、警備員が施設へ急行し、施設の外部及び内部を点検し、異常の有無を確認する。なお、必要に応じて次の業務を行うものとする。
 - ・ 現場に応じた緊急措置
 - ・ 学校職員ならびに施設管理担当者への連絡
 - ・ 基地局への連絡
 - ・ 警察、消防署等への通報
- ② 警備装置が常に正常な機能を保持するよう管理するとともに、異常を発見した場合には、速やかに発注者に通報するものとする。
- ③ 警備装置の発報時にあつては、警備業法第43条の規定により定めた「兵庫県機械警備業者の即応体制の整備の基準等に関する規則」に規定する時間を限度とし、現場に急行するものとする。

(4) 警備装置の仕様及び留意事項

- ① 警備装置は受注者の所有に属する。
- ② 別紙図面上に記載されているハッチング範囲部分に空間センサー及びマグネット

センサー等を設置すること。

- ③ 入退出については、校舎の東側正面玄関とし、その際、電気錠のテンキー操作で開錠し、自動で施錠を行える仕様とすること。

体育館の2階、体育教官室（機械警備対象外箇所）の外部扉に電気錠を設置し、テンキー操作により開錠・施錠を行える仕様とすること。ただし、日中は扉の開閉毎にオートロックされないように設定できること。

また、生徒昇降口1箇所にタイマー付き電気錠を設置し、受注者によりスケジュール入力を行い、設定時刻に自動開錠を行える仕様とすること。

職員室前にテンキー操作もしくはカードキーで開閉できるキーボックス（最低限鍵1本とカード1枚が保管できる大きさのもの）を設置すること。

- ④ 警備装置の開始・解除をカードキー等で行う場合、は学校運営に支障が生じない数量を用意すること。
- ⑤ 自動通報装置は、停電時に30分以上の蓄電池等によるバックアップ機能を有すること。
- ⑥ 火災信号は、既設の自動火災報知設備受信盤より出力される火災一斉警報を通信回線を使用し、基地局へ自動送信できるようにすること。
- ⑦ 学校の改修等により、既設の警備装置の移設及び変更等の必要が生じた場合、発注者は事前に受注者へ通知するものとし、当該工事費は発注者・受託者協議のうえ、定めるものとする。

7 警備装置等の設置、取替、変更、撤去及び保守・点検

（1）設置

- ① 本業務を行うために使用する通信回線については、受注者によりモバイル機器等を設置し信号を送出し、受注者の基地局にて監視できるシステムにより警備を行うこと。
- ② 警備装置の設置費及び本業務に付随する諸経費は全て受注者の負担とする。
ただし、警備に必要な機器類の電気使用料については、発注者の負担とする。
- ③ 警備装置の設置の際には、既存の機器に影響がないように留意することとし、影響が生じた場合、受注者の負担により速やかに修復を行うものとする。

（2）取替え

発注者は履行開始後、受注者の設置した警備装置について、本契約の警備内容に十分対応できないと判断した場合、受注者の負担により機器類の全て又は一部を取り替えさせることができる。

（3）変更

受注者の都合により警備装置等の規格等に変更が生じた場合は、速やかに施設管理担当者と協議のうえで、受注者の負担により取り替えるものとする。

(4) 撤去

履行期間終了後は、受注者が警備装置を撤去して原状に復するものとし、これに要する費用については、受注者の負担とする。

(5) 保守・点検

受注者は、設置された警備装置の機能を保全するため、適宜保守・点検を行う。

8 調査

警備装置設置箇所については、添付された図面で確認することとするが、事前に下見調査が必要な場合、あらかじめ西宮南高等学校へ連絡し、指示を仰ぐ事。

そのうえで、訪問する日程等の調整を行うこと。

9 警備装置の取扱説明警備装置設置

速やかに学校担当者と日程等の調整を行い、適切な警備が遂行出来るよう学校職員を対象に取扱説明をすること。

10 提出書類等

受注者は警備業務履行にあたり、警備業法第19条及び警備業法施行規則第33条に規定する書類を発注者へ提出することとする。

(1) 業務計画書

受注者は警備業務履行にあたり、施設管理担当者と協議のうえ作成し、次の事項を記載すること。

- ① 本警備委託の履行に関して業務を統括する業務責任者名及び警備体制などがわかる緊急連絡系統図
- ② 警備装置の設置箇所、種類及び仕様、配置図等の警備計画
- ③ 基地局又は待機所から学校までの路程及び移動時間
- ④ その他施設管理担当者が指定した事項

(2) 学校に入退出する警備員の名簿

(3) 業務報告書

異常発生により出動した際にはその報告書を翌日までに提出するものとする。

11 鍵の預託

警備上必要な鍵、カードキーは、発注者・受注者相互に預託するものとし、善良な注意をもって管理を行うものとする。なお、履行期間終了後については、双方とも速やかに返却を行うものとする。

12 支払方法

発注者はその月の業務終了後に履行確認し、請求書を受理した日から起算して30日以内に当該請求額を受注者に支払うものとする。

13 再委託の禁止

受託者は本契約に基づく権利を第三者に譲渡し、又は警備業務の処理を第三者に委託してはならない。

14 契約解除

発注者は受注者が次の各号の一に該当するときは、契約を解除することができる。

- (1) 正当な理由なく契約を履行しないとき。
- (2) 契約の締結又は履行につき不正行為があったとき。
- (3) 契約の履行にあたり、発注者の指示に従わなかったとき又は、その職務を妨害したとき。
- (4) 履行期間内に委託業務を完了する見込みがないとき。
- (5) その他契約条項に違反したとき。

15 その他

この仕様書に定めのない事項及び疑義を生じた場合は、別途協議するものとする。